

栗原感染症情報

～防ごう！大人の風しん～

平成30年10月25日
宮城県栗原保健所疾病対策班

大人に広がる風しん

風しんは子どもの病気と思われがちですが、近年では、子どもよりも**大人の間で風しんの感染が広がっています**。そうした中で最も心配されているのが、妊娠中の女性への感染です。妊娠中、特に、妊娠20週ごろまでの女性が風しんにかかると、母体を通じて胎児がウイルスに感染し、生まれてくる赤ちゃんに「耳が聞こえにくい」、「目が見えにくい」、「生まれつき心臓に病気がある」、「精神や身体の発達が遅い」などの障害（先天性風しん症候群）が生じるおそれがあるからです。その確率は**妊娠初期に感染するほど高い**と言われています。

風しんの抗体価が低いことが分かっている場合は、妊娠前にワクチンの予防接種をしましょう。

妊娠中は予防接種をすることができません。不要不急の外出を避けていただき、やむを得ず外出をする際には可能な限り人ごみをさけていただくなど、風しんに感染しないよう注意してください。

特に気をつけるべきは成人男性

2018年の風しんの患者報告数は、第41週（10/8～10/14）までに1289人。これは、**昨年の報告数の1.4倍にもなり**、すでに過去4年間で最も多い数となっています。その報告の**8割以上が男性**、さらにそのうち**8割以上が30代以上**であり、成人男性を中心に感染が拡大していることが分かります。特に30代後半から50代の男性は風しんの抗体保有率が低いと言われています。

家族に妊娠を希望する女性や、抗体を保有していない妊婦がいる場合は、十分に注意が必要です。今までに明らかに風しんにかかったことのない人、抗体検査を受けて、抗体価が低い場合にはワクチン接種を検討しましょう。

無料の抗体検査

宮城県では、次の条件に当てはまる方に対し、無料で風しんの抗体検査を実施しています。

- ✓ 妊娠を希望する19歳から49歳の女性
- ✓ 「風しんの抗体価が低いことが判明している妊婦」と同居している方
- ✓ 「風しんの予防接種歴があり、かつ、風しんの抗体価が低いことが判明している妊娠を希望する19歳から49歳までの女性」と同居している方

詳しくはこちら →

宮城県 風しん抗体検査

検索

関連するホームページ

- 風しんについて（厚労省HP）

https://www.mhlw.go.jp/seisakunitsuite/bunya/kenkou_iryuu/kenkou/kekkaku-kansenshou/rubella/

- 風疹Q&A（国立感染症研究所HP）

<http://www.niid.go.jp/niid/ja/rubellaqa.html>